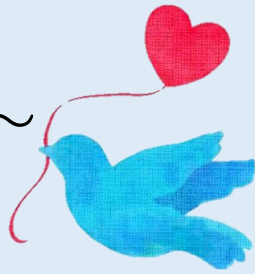


～患者様の声～



Hさん
52歳 男性



◆池上総合病院を選択

健康診断で心雑音と記載されても今まで気にしていなかったのですが、会社から循環器内科を受診して心臓のエコー検査をするように言われ、受診する病院を探しました。池上総合病院のホームページに循環器内科と心臓血管外科の連携がとれ、設備が充実し、医療チームも実績を積み重ねていることが記載されていたので、手術となった場合もしっかりした治療をおこなっていただけたらいいなと思い選びました。また駅から近く、家族も来院しやすく、自宅からのアクセスが良い点も考慮しました。

◆手術を決意

最近では弁膜症手術のガイドラインも変わり、心機能が悪化する前に手術をした方が術後の回復が良好だと知りました。WebなどでMICS手術は入院期間が短期間ですむと記載されていたため、MICS手術が可能な病院で手術を行いたいと思いました。心臓血管外科の先生に相談したところ、心臓の位置によりMICSによる手術ができない人もいますので心臓の位置をCTで確認する必要があるとのことでした。CT検査を行ったところMICSの手術が可能との結果でした。池上総合病院の心臓血管外科の先生は東邦大学医療センター大森病院で経験をつんだ先生で他の病院の先生方を指導しているベテランの先生と知り、安心して手術を行っていただけたらいいなと思い決断しました。

◆手術

麻酔を投与し、MICSによる手術を開始。手術時間は4～6時間程度。手術後はICUにて経過観察。手術直後は口内が乾燥して水を飲みたかったが飲めないため、看護師の方が水を含ませたガーゼで口の中や喉の渇きを和らげてくれました。また早期回復に向けて軽度なりハビリを開始。MICS手術により身体への負担が少なかったため、回復も順調に進み、手術後2週間で退院することができました。

◆体調の変化

手術前は、駅までの通勤約1キロの距離を歩くのがしんどく息切れし、歩くスピードも日に日に遅くなっていました。頭痛や眼精疲労が時々おき、顔や足のむくみがとれず、顔の肌にはくすみも出ていました。週末は1週間の仕事疲れがとれずソファでゴロゴロし、買い物や用意で出かけるのもおっくうになっていました。手術後は血流改善し、酸素や栄養が体中に循環している感じがします。血流改善の体感として、足の付け根や足首、腕などの血管内に血液が熱く流れている感じが時々ありました。頭痛や眼精疲労が治まり顔の肌のシワが少なくなり、色もよくなってきました。歩いてもあまり疲れを感じなくなり、足のむくみもなくなり、手術前は足が上がらず、何もないとこで躓いていたがそれもなくなり、坂道を上がったたりウォーキングするのが楽になりました。

◆感想

僧帽弁人工置換手術を決める前に循環器内科の先生から最近では弁膜症手術のガイドラインも変わり、心臓機能が悪化する前に手術基準に達した方は手術をした方が術後の機能回復が早く、良好となると説明を受け、心臓血管外科の実績ある先生を中心としたハートチームの方達に手術を行っていただきました。術後は良好で親切丁寧に優しく対応していただきました皆様には大変感謝しております。実際に僧帽弁人工置換術手術を行い、退院後1～2ヶ月はあまり無理をせずに体調回復に努めてきましたが、ここ最近は体調も徐々に改善され外出するのが楽になってきましたので手術を早く決断して良かったです。今後は趣味のスポーツとしてゴルフやテニス、スキーを友人や家族と行きたいと思います。仕事は職場内で少しフォローを受けながら行っていますが、仕事帰りには仕事仲間とお酒をほどほどに飲みながら楽しい時間を過ごしています。今回の手術では池上総合病院の皆様には大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。